

素晴らしい校外学習に

校長 松田篤人

25年前の阪神淡路大震災、先生は団地の4Fに住んでいて、大きな揺れを感じ、寝ているわが子の上に覆いかぶさり揺れがおさまるのを待ったのを今でも覚えています。すごく恐怖でした。来年の3月11日で10年を向かえる東日本大震災、その日は、卒業式が終わり、職員室にいと気持ち悪い揺れがあり、テレビをつけると東日本が大変なことになっていました。「天災は忘れた頃にやってくる」と言われます。それだけに、過去に起こった災害を知り、未来に備えるのは大切です。先日の避難訓練は、スムーズに非難ができ、素晴らしかったです。これも備えの一つです。人と防災未来センターで防災、減災を学んで君たちの未来に活かしてください。

また、先日の職場体験学習は、みんなよく頑張り、一日でしたが仕事の大変さを感じ、成長できたと思います。キッザニア甲子園でいろいろな職種の仕事に触れ見識を高めてください。

新しい出会や場所は、視野を大きく広げるチャンスです。そして、貴重な経験を通じて君たちが一回り大きく成長できるものと期待しております。

素晴らしいものとなるためには、何よりもトラブルがないことが大切です。そのためには、校外学習が集団活動であることをしっかりと自覚し、一人ひとりが規律ある行動を常に心がけるとともに、事故に十分留意することが大切です。

来年の修学旅行、みなさんの未来に活かされる、素晴らしい校外学習になるよう願っています。